



特別支援学級における教材について

教育科学コース 水口 智恵

(指導教員 眞城 知己)

問題の所在と目的

平成19年4月から、障害のある全ての幼児児童生徒の教育の一層の充実を図るため、学校における特別支援教育が推進されており、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校において、適切な指導及び支援を行うことが学校教育法に明記された。それまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において特別支援教育が実施されることとなったのである。

特別支援教育が推進されている中で、直近10年間では義務教育段階の児童生徒数は1割減少する一方、特別支援教育を受ける児童生徒数は増加傾向にある。その中でも特に「特別支援学級」と「通級による指導」の増加が顕著になっている。今後も特別支援教育を受ける児童生徒が増加し続けると考えられ、新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議の報告では、1. 障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に教育を受けられる条件整備、2. 障害のある子供の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるよう、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある多様な学びの場の一層の充実・整備を着実に進めることが答申された。さらに、障害のある子供と障害のない子供が、年間を通じて計画的・継続的に共に学ぶ活動の更なる拡充、障害のある子供の教育的ニーズの変化に応じ、学びの場を変えられるよう、多様な学びの場の間で教育課程が円滑に接続することによる学びの連続性の実現により、障害の有無に関わらず誰もがその能力を発揮し、共生社会の一員として共に認め合い、支え合い、誇りを持って生きられる社会の構築を目指すこととなった。その上で、障害のある子どもたちの学びをより充実させるための指導及び教室環境が求められると考える。

そこで、今回特別支援学級に視点を置き、実際に扱われている教材について実践報告資料を基に調べてみる。障害のある子どもたちの学びをより充実させるための指導及び教室環境が求められる上で、特別支援学級を担当する教員は特別支援教育に関する専門性を身につける必要があり、障害のある児童に向けて実際に使用する教材についての知識やその活用法または指導への活かし方を工夫する必要がある、これは、特別支援学級での特別支援教育の向上における課題の1つである。

方法

関西学院大学聖和キャンパス図書館や鳴門教育大学附属図書館での文献収集、及びCiNii Researchで学術論文と実践報告の収集を行った。

全国の小学校に配置されている特別支援学級において実際に扱われている教材及び授業実践の事例に関するおよそ過去20年分の資料を収集し、教材の種類、及び教科ごとに分けて表にまとめた。そこから、どのような教材が多く扱われているのかや教科ごとの教材の分析、また特別支援学級に在籍する児童に有効であったとされる教材について分析した。

それらを踏まえ、これからの特別支援学級に求められる教材や研究の結果から私自身が考える特別支援学級に在籍する児童に有効な教材について考察した。

結果

1) 図書館資料結果

収集した資料の中で扱われていた教科は、算数科、国語科、理科、体育科、生活単元学習、自立活動の6教科である。それぞれの教科ごとで扱われている教材を「既存の教材」、「手作り教材」、「プリント教材」、「視覚支援教材」、「ICT教材」、「専用ノート」、「機器」、「器具」の8つに分類する。

表1より比較的算数科や国語科の授業実践の資料が多いことやほとんどの教科において手作り教材が用いられていることが分かった。

表1 教科ごとで扱われている教材の種類

	既存の教材	手作り教材	プリント教材	視覚支援教材	ICT教材	専用ノート	機器	器具	合計
算数科		12	5	5	1		3		26
国語科	2	5	5	6	2	3	2		25
理科					1				1
体育科		1						7	8
生活単元学習		1			1				2
自立活動				1					1
合計	2	19	10	12	5	3	5	7	63

(2005年から2022年までの図書館資料より)

2) 論文資料結果

収集した資料の中で扱われていた教科は、算数科、国語科、社会科外国語活動、図画工作科、生活科、家庭科、総合的な学習の時間、生活単元学習、自立活動の10教科・領域等である。それぞれの教科ごとで扱われている教材を「既存の教材」、「手作り教材」、「プリント教材」、「視覚支援教材」、「ICT教材」、「機器」、「道具」の7つに分類する。

表2より比較的自立活動の授業実践の資料が多いことやほとんどの教科において視覚支援教材が用いられていることが分かった。

表2 教科ごとで扱われている教材の種類

	既存の教材	手作り教材	プリント教材	視覚支援教材	ICT教材	機器	道具	合計
算数科				6	3			9
国語科	3	1	6	4	3			17
社会科				1	1			2
外国語活動				4	5			9
図画工作科	1	3						4
生活科		3						3
家庭科	1		1	3				5
総合的な学習の時間		1		1	1	3		6
生活単元学習		2		4			2	8
自立活動	5	7	1	7	1		3	24
合計	10	17	8	30	14	3	5	87

(2009年から2022年までの論文資料より)

3) 特別支援学級における有効的な教材

図書館資料とCiNii Researchからの論文資料をもとに教材を分類し、どのような教材が多く用いられているのかを分析した。その結果、図書館資料と論文資料とは、多少結果が異なっているところもあったが、比較的「手作り教材」や「視覚支援教材」を用いて展開される授業実践が多く、例えば、この2つのどちらかを主な教材として、その他の教材と組み合わせた授業を展開している事例が多かった。

また、教科ごとで分析した結果からも、この2つの教材に関して児童に有効な影響を与える教材であると述べられている資料が多かった。ここでのいう有効な影響とは、児童の主体性や学習に対する意欲が高められるということや興味関心を高める事ができることである。以上から、特別支援学級に在籍する児童にとって、「手作り教材」や「視覚支援教材」が有効な教材であると考えられていることが推測された。

考察

今回は、小学校の特別支援学級において、これまでの授業実践資料から実際に扱われている教材についての文献収集を行い、それに基づき、障害のある児童の学びをより充実させるための教育にどのように教材を活かしていくべきなのかを導くことを目的として研究を実施した。その結果、様々な教材を用いながら授業が展開され、その有効性についても検討することができた。その中でも特に有効であった教材が「手作り教材」と「視覚支援教材」であり、特別支援学級に在籍する児童が、学習に向かおうとするきっかけを作るためにも、こうした教材を工夫しながら積極的に用いる必要があると考える。ここでの工夫とは、一人一人の教育的ニーズに配慮し、児童の興味関心を引き出すことができるような工夫のことを指す。

教科ごとにどの教材を活用するのかや単元ごとにどの教材を設定するのかなど、最適な教材の組み合わせ方を常に考えながら、その時の児童に合った教材設定をする必要があると考える。「手作り教材」や「視覚支援教材」を筆頭に授業を組み立て、時にはICT教材を主に用いる授業展開を考えたり、専用ノートなどの学校独自で考案された教材を主に用いる授業展開を考えることで、特別支援学級に在籍する児童にとって、さらに有効な教材を開発することも可能となるはずである。

また、近年進む情報化やグローバル化によって急激に変化し続ける時代の中で特別支援学級においてもそれに対応していくためには、現時点で有効であると考えられる「手作り教材」や「視覚支援教材」に加えて、長期的な未来を見据えた教材の開発や研究をする必要があり、教師側も常に実践、研究し、有効な教材について今後も継続して追求していくべきだと考える。未来を見据えた教材の1つとして、時代を重ねるごとに増えてきていたICT教材が考えられる。GIGAスクール構想により、義務教育を受ける児童生徒に一人一台端末と高速ネットワーク環境を整備することが実現しつつある今、特別支援学級の学習においてもICT教材は欠かせない教材の1つへと変化している。こうしたことから、「手作り教材」や「視覚支援教材」に加え、今後さらに、特別支援学級においてICT教材を積極的に活用することが求められると考える。

今回の研究結果から、有効であると分析できた「手作り教材」と「視覚支援教材」に関しては、これからも積極的に授業の中で用いるとともに、ICT教材をはじめとした特別支援学級における有効な教材について、今後さらに研究を続けて実践及び活用しながら、児童が安心して学びを深められるような教材について追求していく必要があると考える。

主要文献

- ・比嘉亮太 2022 生活に活かすことができる教科別の指導「算数」の授業づくり～お金の学習～. 特別支援教育研究, 779巻, pp.20～23, 東洋館出版社
- ・塚田初美・吉田広毅・中山晃 2013 ソーシャルスキル・トレーニング(SST)を導入した特別支援学級での外国語活動, 小学校英語教育学会誌, 13巻, pp.4～19
(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jesjournal/13/0/13_KJ000089239/84/_article/-char/ja/)